人むすびの場

第1回テーマ"つながるために情報発信しよう!"

日時 平成20年7月24(木) 午後7時~9時

会場 スペースリ

企画運営 "人むすびの場"づくり企画運営チーム

"人むすびの場"とは?

- 「むすひ(産霊)」とは、ものを生み出す力のことを表す古語です。 場には、不思議な力が宿ります。
- "人むすびの場" は、人と人の思い、能力・スキルを結び合わせ、 創発のパワーを発揮して、新しい共生(ともいき)の世界を切り拓 いていく、つながりづくりの場です。
- 私たちの世界は、「人と自然」「人と人」のつながりが薄くなってしまいました。そのため、問題も起こっています。でも世の中には人財、知恵もそこかしこにあり、結び合うことで問題解決のパワーも生まれてくるに違いありません。
- 大切なことは、自然から学び、他者との係わり合いから自分自身 を発見することではないでしょうか?
- 場を活かし、つながりを創り、行動していきたい! こんな思いをつなぎ、今まで自分のやりたかったことに実際に取り組むきっかけづくりにしていただけたらと思います。

走りながら考えていき ま~す!皆さんと創る 場からネットワークや プロジェクトが大きく 育ちますように・・・



プログラム

19:00 ごあいさつ "人むすびの場"づくり発起人 高重和枝 19:05 スピーチ「つながるために情報発信しよう!」 市民メディアプロデューサー 鈴木賀津彦さん ワークショップ「自分を情報発信しよう!」 ファシリテーター 角田知行さん

20:55本日のまとめ21:00終了交流会(うさぎ)

つながるために情報発信しよう! ゲストスピーカー 鈴木賀津彦さん



「市民メディア」「住民ディレクター」に学べ! 市民メディアの時代

~ 私たちが情報発信者になる~

皆さんは「メディア」にどんなイメージを持っていますか。多くの人が「メディア = マスメディア」というイメージにとらわれているように感じます。その概念を一度壊すことが必要だと考え、「私たちがメディアだ」と、いつも強調しています。もう一つのメディア、「市民メディア」に注目してください。市民メディアはこれから、社会的にますます大きな役割を果たすようになります。

メディアというと、大手の新聞やテレビ局などのマスメディア、マスコミのことを考え、メディアに対して自分たちは「情報を受け取る側」であると思っていませんか。読者、視聴者という言葉に表されるように、新聞は読むもの、テレビは見るものという固定観念にとらわれているようです。確かに、これまではそうだったかもしれません。でも今は、ちょっとパソコンをいじればインターネットにつながり、誰もが情報発信できる時代です。テレビも、ただ見るだけではなく、「出るもの」だったり、誰もが「番組をつくる」ことができるようになってきました。

まず、皆さんの持っているメディアのイメージを壊すところから始めましょう。これからのメディアのあり方を考えるとき、私たち自身が「情報発信者」になる、新しい多様な市民メディアをつくる「実践」が必要になってきています。

これからは「市民メディアの時代」です。「住民ディレクター」って、聞いたことはありますか。実は今、地域の話題を地域の人たちが自らテレビ番組のディレクターになって映像情報を発信する「住民ディレクター」の取り組みが、地域を元気にする仕掛けとして全国的に注目さ

れ、広がっているのです。熊本県山江村で始まった「住民ディレクター」 の活動が起爆剤になり、共感する人たちが自分たちの地域で取り組み 始め、今では各地の住民ディレクター同士が交流し合うなど盛り上がっ ています。

「地域づくり」で言えば、これからは住民自らが地域を盛り上げる活動に参加する「当事者意識」が欠かせませんが、それを創り出していくには、地域住民が情報を共有したり共通認識をつくることが必要で、そのためのメディアが求められています。多くの人々に知ってもらいたいことがある時、マスコミに「取材してください」「記事にしてください」と頼むのではなく、私たち自身で情報発信することが大切で、それが今後の「市民社会」での「地域力」のバロメーターになると言っても過言ではないでしょう。

自らの情報を発信すると、そこから「共感」が広がり、発信者自身が元気になります。コミュニティも同様で、情報発信すると、そのコミュニティはますます元気になります。「市民メディア」はみんなを元気にしています。

一方で、マスメディアの側も「発信者」と「受信者」の双方向性が重視されるようになり、読者参加、視聴者参加型の記事や番組が増えてきています。そうした中で、「市民記者」が登場して、これまで受け手だった人たちに取材してもらうような関係もできています。マスメディアも「市民メディアとの連携」なしには、やっていけない状況も生まれており、その連携のあり方がそれぞれのマスメディアの将来展望をも左右している訳です。

多様な情報発信をすることが、実に楽しい時代なのです。市民メディアが世の中を変えていることを、私たちの周りから探してみてください。そんな視点で、激変する21世紀のメディア状況をとらえていけるように考えています。

(ジャーナリスト 鈴木 賀津彦)

【略歴】市民メディアプロデューサー。新聞記者の仕事のかたわら、教育、福祉、環境問題などを通じた地域おこし・まちづくり活動など、各地の市民活動にかかわる。市民がメディアを使って新しい地域ネットワークづくりに取り組むなどの、まちづくりでのメディアの役割を重視、地域における「当事者としての新聞」のあり方を模索中。日本ジャーナリスト会議運営委員、日本NPO学会会員









「場」の様子

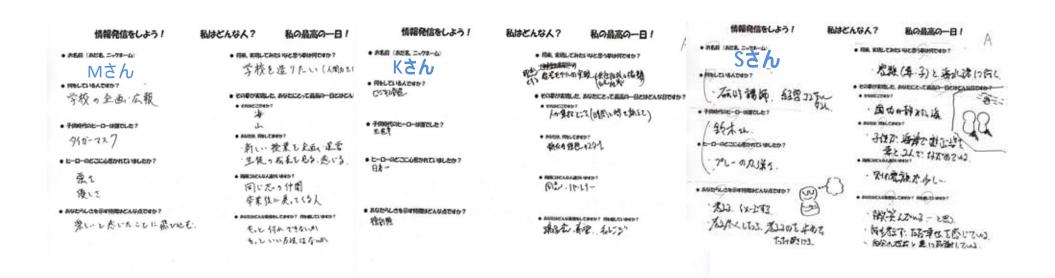


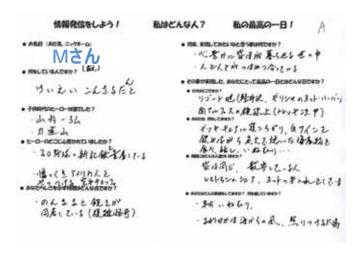


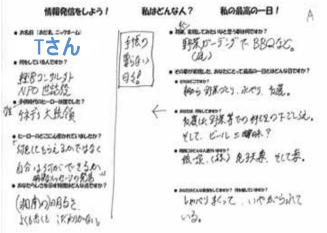




自分を情報発信しよう! Aグループ



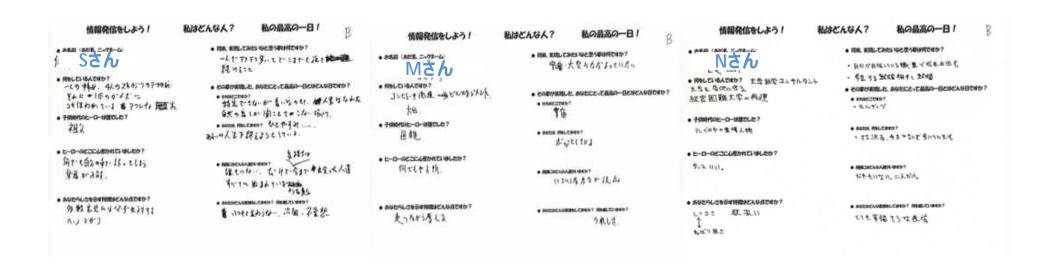


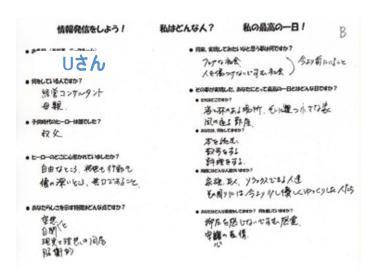


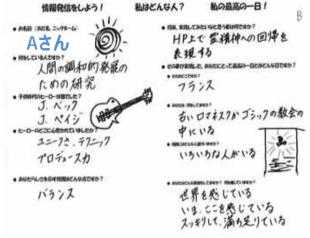
Aグループのつながり キーワードは

「人間性善説」でした。

自分を情報発信しよう! Bグループ

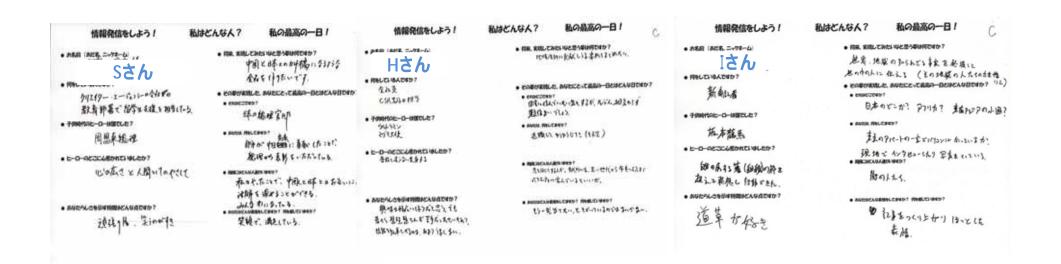


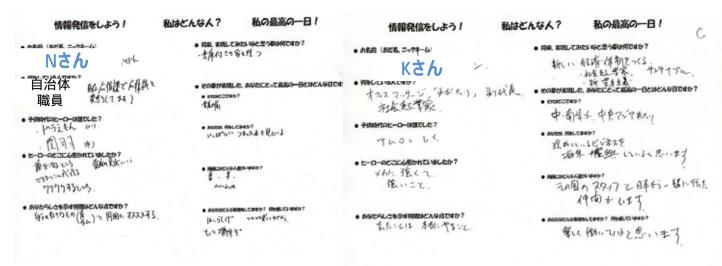




B グループのつながり キーワードは 「フェイドアウト傾向?」 でした。

自分を情報発信しよう! Cグループ



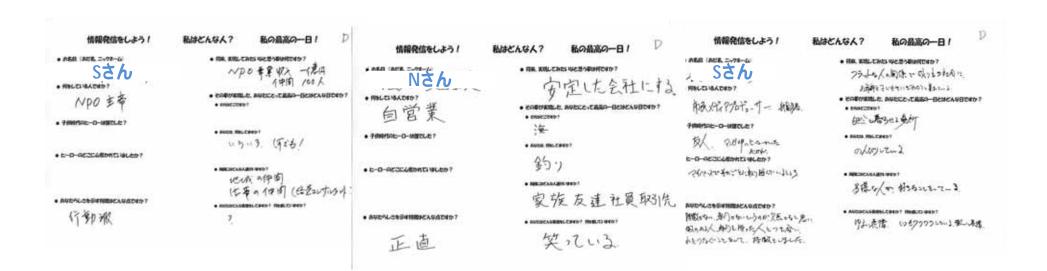


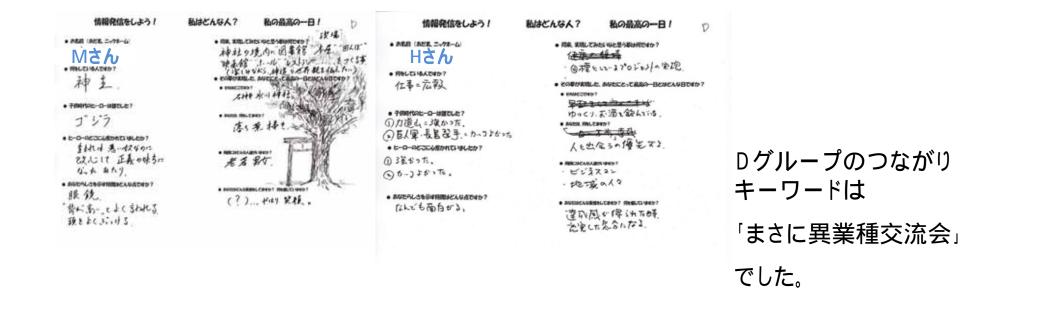
Cグループのつながり キーワードは

「かけ橋になる!」

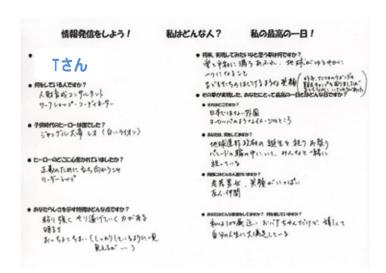
でした。

自分を情報発信しよう! Dグループ

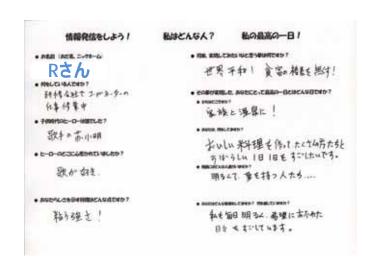




自分を情報発信しよう! 場づくり人



私の最高の一日! 私はどんな人? 情報発信をしよう! 経象、実現してみたいなと思う事は何ですか? o お名前 (おだ名、ニックオーム) Tさん クコーラング ハウスを聞きたい 10はなのんなに関かれた o 何をしている人ですか? ● その参か実現した。おおたにとって最高の一日とはどんな日ですか? ファシリティター & コーキ · ENGESTED? コーキングーハウスト オーフロニング・ハローライ · 74MHOL-D-METUE? 太平洋など川からる。 · BUEB RIGERRO? は、たんなのでのをこうころ TREET 7:13 TW こなから歩いている。 ● ヒーローのどこに心をかれていきしたか? Q 13 3 1TL 1C RECIPCAS/ARCS 940-7 FALLE 101式の子供、主婦、おじさし意 J- 3件間,学校a烷生 etc ひろうないに e あなたらしさを示す特定さどんな点ですか? · BURNICAGEMOLEPED? SPERUELWED? ななせれ トとんとの全話がものは かりと背方のものも とあたたかくを花井底子を だいる欲深さ しんかりをはじている



本日の感想

このつながりをどういかすか、その 結果が、この会の存在価値になる と思います。第1回、楽しくおしゃべり できました。これからの継続、積み 重ね次第だと思います。(S)

自分について夢についてそれを表現 することだけでも「情報発信」になって いくことを実感した。

(K)

市民メディアはプロフェッショナル?プロ同士の交流では?メディアになりたい。人を結ぶ"ハブ"になりたい。

(O)

自分の発信も考える時間がくれて 良かったです。人様からの発信を 受けて今まで不思議に思っていた 事を聞くことができて良かったです。 (T.K.)

皆さん視野が広い夢(日本にとどまらず)をお持ちだなと感じました。自分の仕事は区に縛られているので発想もその中で完結されて、もっと外部からの刺激が必要である

自分には無いものを持っている。自分とは良い意味で異なる人と出会うこと。 貴重な経験だと感じました。 ありがとうございました。

市民メディアとマスメディアの共存、パートナシップ・・これは自由に! その基本前提は自分メディアの発信 鈴木さんのお話:市民側からの情報発信はカウンターパワーとして市民の成長機会としてよいこととおもいます。この会まだWhat in this?です。

人間社会って不思議だな・・・面白いなあ・・・だからやりがいがあるなあ・・・

もう少し、人間を続けよう!

本日の感想

お互い新しい人達との出会いはわくわく 興味深深です。しかし…理解し合うには結 構時間がかかることなのでしょう!あまり 急がないで・・・という感想です。どちらにし てもこのような企画と考えを出された高重 さん・・すごい勇気です。 鈴木先生の話を聞かせていただいて、とてもいい勉強になりました。「市民メディア」はグローバル時代の今、インタネットの時代の今において、非常に重要になって来たとおもいました。伝統の「メディア」と違う独特なところをぜひ発揮させて、社会的な役割を果たしてもらいたいと思っています。

人と話すきっかけさえあれば、人のことをもっと好きになるし、様々な発見、喜び、チャンスが生まれる。普段会えない方、特に年配の方との話は自分の幅を広げるきっかけになる

(M)

大変ユニークで楽しい会でした。久しぶりに自分自身を振り返る機会がありました。いるいろな方と話すこともできました。・・・それにしてもグループの中に同じようなブィジョンを持っている人が集まっていたのには驚きです。縁の不思議さを感じました。 ありがとうございました。(W)

発見する楽しさ!!

(N.H.)

A~D4つのグループがあったが、たぶん 私は私のあるところのグループにいたな ~と感じた。 おもしろいめぐり合わせでした。

(M)

さまざまの立場の人がいる会のようだ。 おおいに関係を作っていきたい。 (H)

